

令和4年度 学校評価について

宮城県加美農業高等学校 学校評価委員会

1 学校評価の実施

(1) 調査対象

対 象		実 施 期 間	人 数	備 考
1	教 員	令和4年11月2日～24日	48名	教育職員のみ
2	教 職 員	令和4年11月2日～24日	65名	非常勤を除く職員
3	生 徒	令和4年11月2日～24日	160名	
4	保 護 者	令和4年11月2日～24日	160名	
5	外部学校関係者	令和4年11月2日～24日	12名	学校評議員・近隣区長等

(2) 回収状況

対 象		令和4年度	令和3年度
1	教 員	85.4% (41/48)	100%
2	教 職 員	100% (65/65)	83.6%
3	生 徒	76.3% (122/160)	99.5%
4	保 護 者	73.8% (118/160)	84.3%
5	外部学校関係者	75.0% (9/12)	100%

(3) 調査方法

Webアンケート (Google フォーム) 及び質問紙法

2 調査結果

- (1) 自己点検・自己評価 (教員・教職員) : 別添資料A (教員), B (教職員) による
- (2) 学校関係者評価 (生徒) : 別添資料C (生徒) による
- (3) 学校関係者評価 (保護者) : 別添資料D (保護者) による
- (4) 学校関係者評価 (外部学校関係者) : 別添資料E (外部学校関係者) による

3 まとめ

今年度より、Webアンケート方式 (一部外部関係者については質問紙により実施) により実施したことから、回収率は上記の状況となり、昨年よりも低下した。

教員及び教職員の結果では、調査45項目のうち43項目で肯定的な回答 (80%以上) であった。特に、「教員やSC, SSWが必要な時に相談に応じている体制ができている」の質問及び「カウンセリングマインドを心がけ、生徒が安心して悩みを相談できるように努めている」の質問については、いずれも100%となり、生徒一人一人に対しての支援体制が構築されていることが伺える。

しかしながら、「本校では、部活動が活発に行われている」の回答については、61.5% (昨年62.7%)、「本校の施設や設備は、安全で安心した学校生活を送れるようよく整備されている」の回答については52.4% (昨年56.9%) であり、「部活動の活性化」と「施設・設備の老朽化」が引き続きの課題である。

生徒の結果では、県教育委員会が指定する13の調査項目で、肯定的な割合が全て85%を超えている。特に、「寮の生活を経験したことを、将来にわたって役に立つ貴重な経験であると考えている」の回答が昨年よりも4.1ポイント上昇し97.5% (昨年93.4%) となり、農業経営者育成高校としての役割を果たしていると考えられる。また、コロナ禍であっても「学校生活は充実している」の回答については、年々上昇していることから生徒の満足度が伺える。

保護者の結果では、22項目中21項目で肯定的な割合が80%を超えている。特に「学校では、地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる」の回答が昨年よりも5.6ポイント上昇し98.1% (昨年92.5%) となり、地域や関係機関との協働による魅力ある学校づくりに向けて高い評価を得ている。しかし、「いじめ問題に対する学校の取り組み方針が保護者と共有されている」の回答については、78.2% (昨年74.0%) と昨年よりも上昇したものの、引き続き本校の課題である。

自由記述においては、農業高校としての人材育成と、地域に開かれた学校教育への期待度が高い意見が多く寄せられた。今後も様々な要望等を聞き入れながら、魅力ある学校づくりに向けて改善を図っていきたいと考える。